

2月に入り厳しい寒さが続いています。冬季は子どもも大人も感染症に罹患しやすいです。こども園でもインフルエンザが増加しています。手洗いうがいで感染対策に努めましょう。

インフルエンザが流行しています！

●インフルエンザの特徴

- ・急な発熱（38℃以上が多く咳などに先行して現れます）
 - ・悪寒、頭痛、筋肉痛、関節痛が急速に現れます
 - ・咳、喉の痛み、鼻水
- これらの症状があった時はインフルエンザの可能性がります。

●インフルエンザの治療について

- ・解熱鎮痛剤と抗インフルエンザウイルス薬で治ることが殆どです。
- ・発症後48時間以内であれば治るまで0.5～3日短縮されると言われています。

●こんな時は再受診を！

- ・5日以上高熱が続く・息苦しそう・痙攣を起こした・息苦しそう
- インフルエンザの合併症として肺炎があります。
乳児や喘息を持っているお子様では時に重症化を起こすリスクがあります。

お薬は苦味があるため苦手なお子さまが多いです。チョコレートクリームやチョコレートアイスと相性が良いので試してみてください。

※2023年よりインフルエンザの治療証明書の提出は必要なくなりました※

●発熱から2日間は安全対策を！

かつてインフルエンザのお薬で異常行動がみられることが問題になりましたが、投与の有無に関わらずインフルエンザの罹患に関連して発生すると考えられています。インフルエンザを発症した際は2日間は転落といった事故の防止対策を講じ、お子さまを一人にしないでください。

ノロウイルスに要注意！

ノロウイルスは嘔吐・下痢といった急性の胃腸炎症状が現れ、冬の胃腸炎・食中毒の原因ウイルスになります。ヒト→ヒトの感染として飛沫感染、吐物や糞便に汚染されたものから感染する二次感染が多いようです。また、ここでの飛沫感染とは埃などに混ざり周辺に散らばるといったイメージです。

ノロウイルスの潜伏期間は24-48時間程と短くいきなり吐き気や嘔吐、腹痛で発症するのが特徴です。稀に38℃以上の発熱もあります。また症状が治まってからも1週間～4週間は糞便からウイルスが排出されるため、手洗いをを行い感染対策に努める必要があります。